**「国勢調査」　開始から100年**

**5年に1度の最も重要な統計調査です**

問い合わせ　市政情報課統計担当 23-5091　各総合支所地域振興課　松山 55-2111

三本木 52-2111　鹿島台 56-7111　岩出山 72-1211　鳴子 82-2191　田尻 39-1111

**国勢調査とは**

　「日本に住む人や世帯」について知ることで、生活環境の改善や防災計画など、私たちの生活に欠かせないさまざまな施策に役立てられる大切な調査です。

　令和2年10月1日現在、日本国内に普段住んでいる全ての人（外国人を含む）および世帯が対象となります。

**調査の目的**

　調査は、統計法（平成19年法律第53号）第5条第2項の規定に基づいて実施する人および世帯に関する全数調査で、国および地方公共団体における各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的としています。

**調査結果の活用事例**

　調査結果は、国や地方自治体の施策立案の根拠や地方交付税、各種交付金の算定資料となります。

　例えば、防災計画の策定や災害時の被害予測などの災害対策や保育所建設などの子育て支援施策、高齢者福祉対策などに活用されます。その他、商業施設の出店計画などの経済活動や研究・教育活動など、さまざまな分野で活用されます。

　調査結果は、日本の将来を見通すために非常に重要であり、私たちの身近なところで活用されています。

**調査は16問**

　調査項目は、世帯員数、生年月日、現在の場所に住んでいる期間、従業地または通学地、就業・就学状態、仕事の内容、住居の種類など、全部で16問です。

　調査項目はいずれも、世帯に関する基本的なものばかりで、10分から20分という短い時間で回答することが出来る、とても簡単な調査です。

**回答方法**

　回答方法は、インターネットのほか、郵送や調査員が回収する方法がありますが、インターネットでの回答が便利で簡単です。

　９月中旬から、調査員が皆さまのお宅を訪問し、調査書類を配布しています。回答が確認できない場合は、調査員が再度訪問します。

　国勢調査は、統計法という法律によって、調査票を提出することが義務付けられていますので、忘れずに回答してください。

**調査への回答はお済みですか**

**回答の期限は10月7日（水）**

**調査員ってどんな人？**

国勢調査員は、市の推薦に基づいて総務大臣が任命した非常勤の国家公務員です。書類や調査票の配布で各世帯を訪問します。

**簡単！インターネットで回答**

回答方法は、インターネット回答がおすすめです。

　期間中は24時間いつでも回答ができ、難しい操作はありません。調査票のポストへの投函や調査員が回収に伺うこともなく、その場でスマートフォンやパソコンで回答ができます。アクセス方法や回答に必要なログイン情報については、既に配布している「インターネット回答利用ガイド」をご覧ください。

　下記「国勢調査2020総合サイト」のQRコードやURLからもインターネット回答サイトへアクセスすることができます。

**調査事項**

▶世帯員に関する事項（15項目）

①氏名　②男女の別　③出生の年月　④世帯主との続柄　⑤配偶の関係　⑥国籍　⑦現在の住居における居住期間　⑧5年前の住居の所在地　⑨在学、卒業等教育の状況　⑩就業状態　⑪所属の事業所の名称及び事業の種類　⑫仕事の種類　⑬従業上の地位　⑭従業地又は通学地　⑮従業地又は通学地までの利用交通手段

▶世帯に関する事項（4項目）

①世帯の種類　②世帯員の数　③住居の種類　④住宅の建て方

※設問は全16問です。

**調査の流れ**

調査書類の配布

調査員が調査書類を配ります。

9月14日（月）から

インターネット回答

９月14日（月）から10月7日（水）

調査票（紙）回答

10月1日（木）から10月7日（水）

提出のお願い

回答が確認できない場合は、調査員が回答のお願いに伺います。

10月8日（木）から10月20日（火）

調査書類の確認・集計

調査票の記入もれや記入誤りなどを確認し、コンピュータによる集計を行います。

**もっと詳しく国勢調査を知りたい！**

「国勢調査2020総合サイト」で、もっと国勢調査のことを学んでみませんか。

　広報タレントとして、芦田愛菜さんや川栄李奈さんなどが国勢調査をPRしています。テーマは「Let's Join!! ＃みんなの国勢調査」です。

　テレビで見る芸能人などをきっかけに、もっと詳しく国勢調査を学んでみましょう。

QRコードかウェブサイト（https://www.kokusei2020.go.jp）をご利用ください。